花いっぱい運動 －取り組み事例を紹介します－

市では、道路沿いや公共の場所にある花壇を花でいっぱいにする、花にあふれたまちづくりを進めています。この活動を通じて生まれる人々の交流や美しい環境による癒やしにより、心豊かに暮らせる花巻を目指しています。

ことしは、約340の団体などに配った約24万５千本の花苗が市内各地に植栽されました。美しく咲きそろった花壇と、その取り組みを紹介します。

【問い合わせ】
本庁生活環境課（☎24-2111内線258）

「新田花の道花壇」新田自治会親睦会

国体に向けてきれいな花壇をおもてなしの心で植栽

「新田花の道花壇」は、花巻南ＩＣから総合体育館に向かう道路沿いに設置されています。

「交通量が多く、スポーツ大会で来るバスも通るので、花を植えてきれいにお迎えできるように」と話すのは自治会長の高橋さん。花が枯れると地区内の別の花壇から苗を移植し、美観を保っています。

ことしは、総合体育館南側の街路樹升にも国体に向けて花苗を植栽。主要な道路沿いであることを意識し、おもてなしの心を持って取り組んでいます。

花の高低差や配色も考慮し、毎年彩り豊かな花壇となっています

「ばあちゃんの畑」ひまわり会

笑顔あふれる交流の場 元気やユーモアが伝わる花壇

新堀３区のご近所さん９人で取り組む「ばあちゃんの畑」。休耕田を活用した畑作りをきっかけに、４年前から一部を花壇にして花いっぱい運動に取り組んでいます。

畑の管理は声を掛け合ってみんなで行い、作業が終わった後は、畑のそばでおしゃべり。笑顔があふれる交流の場にもなっています。

「ことしの花壇は会員の顔をイメージして植えました」と会員の皆さん。元気やユーモアが伝わってくるような花壇です。

みんなで協力して、毎年ユニークな花壇を作っています。看板も手作りしました

花苗を配布します

市では、道路沿いや皆さんが気軽に見て楽しめるような場所にある花壇やプランター、街路樹升に植える花苗を、団体や個人に配布しています。

本年度の配布はすでに終了していますが、植栽について検討している場合はお気軽に本庁生活環境課までお問い合わせください。

来年度は国体が開催されます。花巻を訪れる人に喜んでいただけるよう、積極的にご活用ください。

11月2日、運用開始
迅速・確実な通信網 消防救急デジタル無線

地震や台風、洪水などの災害が発生すると、電話やインターネットなどの通信手段が寸断されてしまうことがあります。そのような状況でも、消防指令センターや隊員同士が情報共有と指示伝達ができる確実な通信網が必要です。

新しく整備された消防救急デジタル無線により、災害時の迅速・確実な通信手段が確保され、より的確な現場対応ができるようになります。

デジタル無線システムの特徴

■通信エリアの拡大

基地局を最適な場所に配置したことで、アナログ無線システムでは通信ができなかった地区でも連絡を取り合うことができます。

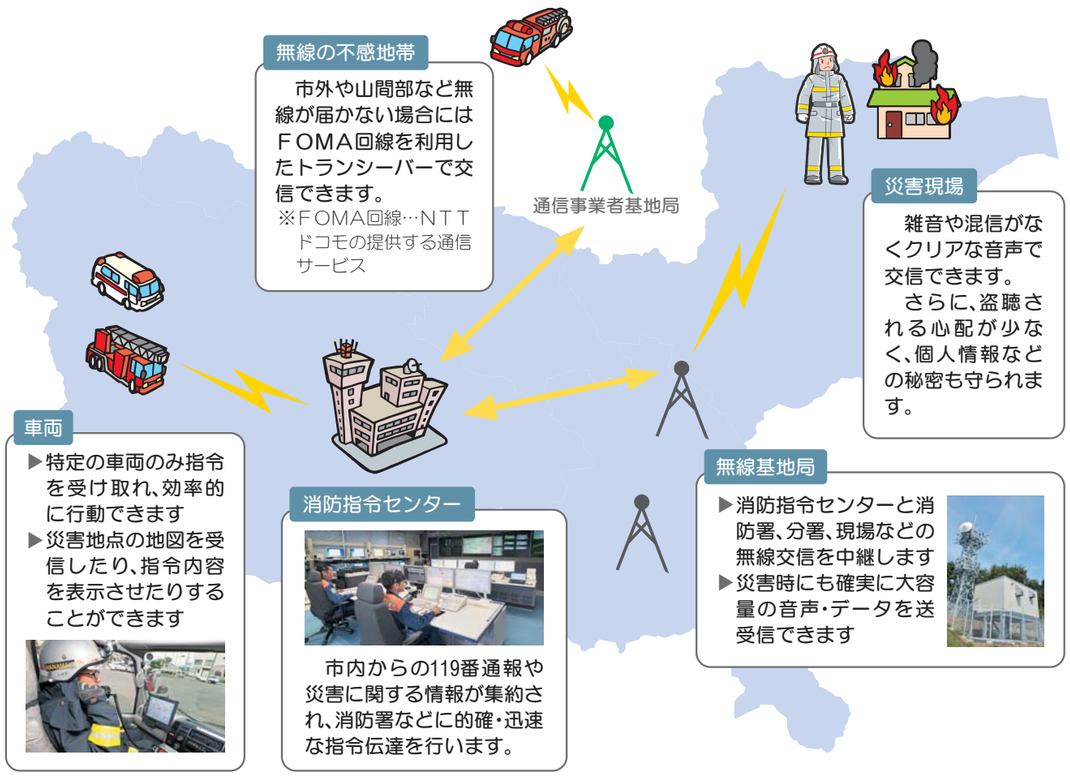
■無線統制の高度化

携帯電話のように個別通信ができるようになりました。これにより、特定の消防車にのみ指示を出すことができ、効率的かつ、きめ細かい消防防災活動が行えます。

■クリアな音声

アナログ無線システムに比べ雑音がなく、高音質な通信が可能となります。重要な情報を正確に伝えることができるため、現場活動がよりスムーズに行えます。

■プライバシーの保護

デジタル無線システムでの通信は、市販されている無線の受信機では受信できません。そのため住所や氏名などの個人情報を取り扱う場合でも無線による通信が可能となります。

【問い合わせ】
花巻市消防本部通信指令課
（☎24-2141）